

◎第4学年授業改善プラン

☆印については、ご家庭でも取り組んでいただくと嬉しいです。

	現状分析（児童の実態） ○成果 ●課題	・学校での取り組み（授業改善プラン） ☆家庭学習ポイント（保護者の方々へ）	チェック
国語	○学力調査によると、「言語についての知識・理解・技能」は全国平均より約2ポイント高い。「話す・聞く能力」は約1ポイント高い。「漢字を読む」は約6ポイント高い。 ●「作文」では、半数の児童が満点であるが、10人の児童が無回答であった。「書く能力」は全国平均より、約4ポイント低い。自由な記述や感想を書くことはできているが、条件を提示された作文に課題がある。「漢字を書く」は約2ポイント低い。ローマ字は4割の児童にしか定着していない。	・新出漢字の学習で、正しく丁寧に書く指導をし、小テストを行って定着を図る。止め跳ね払いなどで注意して書くポイントを指示し、正確に書けるよう指導する。部首や意味に関連する漢字を併せて指導することで、漢字を読み書きする知識を豊富にする。 ・新聞作りや紹介カード、リーフレット作りなどの書く学習では、調べたことを基に順を追って書く活動を多く取り入れる。 ・提示された条件に合った表現ができるよう、問われている事を正確に把握し、的確に書き表す力を育てていく。 ☆新出漢字の宿題は毎日出しています。漢字練習帳には一点一画でいねいに書いて練習するよう声をかけてあげてください。字形を整えて書こうと努力するうちに、漢字の構成・組み立てが分かるようになってきます。その段階になれば漢字力がぐんと伸びます。	
社会	○消防・警察の学習ではワークテストの正答率が80%であった。 ●地図記号や方位を地図帳から読み取る力が不十分である。 ●「都道府県」では、帰省や旅行で出かけた場所への関心が薄く、「海へ行った。」と言えても、「どこの」が言えない。出かけた場所を地図で探すなどの意欲が不足している。	・方位や等高線・縮尺などの正しい知識を学び、地図上で自分の位置を知り、地域や都道府県の広がりや把握して、地図を読み取る力を養う。 ・暮らしの安全やライフラインの整備と仕組みを学習し、私たちの生活がどのように成り立ち維持されているかについて、自分の生活を振り返って考えさせる。 ☆帰省や旅行に出かけた先を地図で確かめるなど、地名や地形が地図帳で調べられるようにしてあげてください。水・電気・ゴミなどがどのように供給・処理されているかを、生活の中で考えられる機会を設けてあげてください。	
算数	○学力調査によると、「基礎」は全国平均より1ポイント、「活用」は6ポイント高い。「数量関係」は約5ポイント高い。 ●「図形」は約2ポイント低い。「たし算ひき算」は5ポイント低い。また「円と球・三角形」「図形」の正答率が7割を下回っている。	・数概念、数量感覚について実感を持って理解させる。結果を見積もったり、筋道立てて考え見直しをもって解決しようとしたりする意欲を高められるよう指導する。 ・習熟度に応じた課題を設定し、知識や技能の定着を図る。 ☆三角定規、分度器、コンパスが生活や遊びの場面でも使える機会を設けて、道具の使い方に習熟させてあげてください。計算ドリルの宿題は毎日出していますので、おうちでは正確に丁寧に取り組むよう声をかけてあげてください。	
理科	○テストの正答率が85%を越えており、知識・理解では90%の正答率である。 ●予想とその理由を表現することに課題がある。 ●「電気」のテストでは学年平均が80%を下回っている。	・目に見えないものは図や絵を使い、できる限り視覚化して考えさせる。予想をノートに書かせるだけでなく、考えたことを友達に伝える活動を通して、自分の考えを説明できる場を設ける。 ・水や空気のすがたを実験や観察を通してとらえ、温度や圧力の変化によって変化する姿を、根拠を挙げて説明できるよう指導する。 ☆家族で月や星を眺めたり、お風呂で水や空気（泡）で遊んだりするなど、日常生活の中で理科的な活動ができる機会を設けてあげてください。様々な自然現象について子供が説明したり、学習したことと結びつけて話をしたりする時には、よく聞いてあげてください。	
音楽	○めあてをもって学習に取り組むことができ、音楽を形づくっている要素の動きを感じながら、意欲的・積極的に音楽表現活動に取り組む姿が多く見られ、音楽に対する興味・関心をもっている。 ●器楽のリコーダーの学習では、運指など技能面でのつまずきを感じている児童たちが見られ、適切な練習方法で、継続的に取り組むことが難しい。	・伸びのある明るい声で歌ったり、演奏したり、音楽をよく聴き感じ取ったことを体の動きで表したりするなど、多様な音楽活動を通して、豊かな感性を養うようにする。 ・発声や音程に気をつけて歌い、リコーダーのアンサンブルや器楽合奏を通して、音を重ね合わせる経験を広げるようにする。楽器の基礎的な積み重ね学習においては、必要に応じて補充学習も行い指導する。 ☆楽器を持ち帰った時は、学習している曲を聴き、息遣いや運指、音色の美しさなど、よい所を認めてあげましょう。また、思うように演奏できない場合は、助言をお願いします。保護者の方と一緒に、繰り返し練習する時間をつくりましょう。	
図工	○新しい技法や材料に対して関心が高く、意欲的に取り組んでいる。 ●じっくり取り組むことができず早く雑に作ってしまう児童と、ゆっくり丁寧に製作し時間がかかる児童の差が大きい。	・計画段階を、時間を確保してじっくり考えさせることで見直しをもたせる。 ☆表したいことをしっかり表現することができたか、作品について話を聞いてみてください。また、身近な美術作品を見た時や身の回りのものに触れた時に感じた美しいと思う気持ちや感動を、言葉にして話し合ってみてください。	
体育	○体力テストによると、学年のレベルは全国平均を上回っている。 ○「上体起こし」「長座体前屈」「立ち幅とび」は全国平均を大きく上回っている。 ●「反復横とび」「20mシャトルラン」は全国平均を下回っている。	・俊敏性を高めるために、ジグザグ走・号令による前後左右のステップや足の踏みかえなどの運動をリラックスさせながら短時間で集中的に行う。 ・持久力を高めるために、20分休みの外遊びを継続的にやり、走る遊びをすすめていく。 ☆放課後遊びでも「鬼遊び」ができるように声をかけてください。毎日の積み重ねが体力を向上させます。	